

平成29年度
学校訪問活動報告書

平成30年3月26日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

— 目 次 —

I. 平成29年度の学校訪問活動を終えて	…	1
II. 平成29年度・学校訪問一覧表	…	2
III. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）	…	3
V. 海技教育機構との懇談会議事概要	…	4～7
VI. 水産高校生の求職希望に対する情報提供	…	8
VII. 平成29年度・船員対策委員会委員名簿	…	9
(別紙) 学校別訪問結果報告書	…	10～48

I. 平成29年度の学校訪問活動を終えて

船員対策委員会では、当組合の中期運営指針及び平成29年度事業計画において、船員の高齢化・不足化等の状況に鑑み、若年船員の確保・育成を重要施策に位置付けていることから、本年度も次の目的で学校訪問活動を実施いたしました。

- (1) 船員の高齢化、若年船員の不足状況から、学校との良好な関係づくりの継続
- (2) 学校側に、業界の現状、求人傾向の説明、生徒の求職希望等について情報交換
- (3) 毎年変わる生徒に対し、内航タンカーの役割や船員の仕事等の説明によるPR
- (4) 学校とパイプの無い会社の橋渡しの役割を果たし、採用会社数の底辺を拡大
- (5) 入社後のミスマッチ解消に向け、最近の学生の気質や就職に対する考え方の把握

訪問に当たっては、例年通り、海技教育機構本部との意見交換を行い、各支部の協力を得て、組合員に参加を呼びかけ、**訪問校35校、参加会社延べ198社、参加人数延べ255名**の訪問活動を実施することができました。当初40校の訪問を計画しましたが、スケジュール調整がつかず5校は次年度に順延、また、訪問当日、大雪による交通マヒで多数欠席等があったことを考慮すれば、ほぼ昨年並みの活動規模であったと言えるかと思えます。

海上技術学校及び同短大は、内タン各社の採用実績が他業種に比べて多く、各社の積極的な採用と訪問活動の継続が着実に業界の底辺拡大に結びついて来た感があります。(平成29年新卒採用**115名**(註))

水産高校については、組合員の採用実績がある学校、毎年出前授業の依頼を受けるなど好感触を得ている学校を中心に訪問を実施して来た結果、初めて新卒採用実績が**学校区別でトップ**となりました。(平成29年度新卒採用**125名**(註))

商船高専や、将来の陸上管理者としても期待される**商船系大学**については、訪問活動や各社の求人増加を反映して、徐々に内航タンカーを就職対象と考えている生徒が増加して来ていましたが、今年は若干伸び悩んだ感があります。(商船高専25名→**22名**、商船系大学19名→**9名**(註))

この他、関西支部で試みている、不足する機関部員の新規発掘に向けた**工業高校**生徒や**一般の高校・大学**(平成29年度新卒採用**25名**(註))、も含めて、あらゆる分野から若年者を就職実績につなげていくことが課題かと思えます。

(註:採用数は平成29年度内航タンカー船員実態調査結果による集計値)

組合員の平成30年3月の新卒採用活動については、例年以上に積極的な求人活動が展開されましたが、少子化の現状、陸上での人手不足から、他業種の求人数も増加する等、採用活動に苦戦した組合員もいるやに聞き及んでおります。

このため、平成30年度は、これまでの訪問活動によって作り上げてきた業界と学校の相互理解をさらに深め、訪問結果を当組合の施策に反映し、組合員各社の船員募集活動の一助となるよう継続した活動を展開して行きたいと考えております。今後とも、皆様の活動に対するご理解とご支援をお願いいたします。

訪問活動にあたり、当委員会委員はじめ、各支部より多くの方々のご協力をいただきました。ここに改めてお礼申し上げます。

平成30年3月
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

Ⅱ. 学校訪問一覽表 (平成29年度)

区分	No	地区	訪問校	訪問日	担当支部	訪問実績	
						社数	人数
海技教育機構	1	北海道	小樽海上技術学校	2/6	関東	5	6
	2	岩手	宮古海上技術短期大学校	10/19	関東	8	9
	3	千葉	館山海上技術学校	2/28	関東	6	7
	4	静岡	清水海上技術短期大学校	10/11	関東	8	10
	5	佐賀	唐津海上技術学校	11/21	西部	9	11
	6	長崎	口之津海上技術学校	11/27	西部	11	13
	7	愛媛	波方海上技術短期大学校	11/8	四国	13	16
	8	兵庫	海技大学校(芦屋)	10/18	関西	8	9
水産高校	9	北海道	小樽水産高等学校	2/7	関東	5	6
	10	北海道	函館水産高等学校	12/12	関東	5	9
	11	青森	八戸水産高等学校	12/11	関東	4	7
	12	岩手	宮古水産高等学校	10/19	関東	7	8
	13	宮城	宮城水産高等学校	7/6 ※1	関東	5	6
	14	茨城	茨城海洋高等学校	2/21	関東	3	6
	15	神奈川	海洋科学高等学校(旧三崎)	11/24	関東	5	7
	16	愛知	三谷水産高等学校	6/21、7/12	東海	5	7
	17	三重	三重水産高等学校	7/11	東海	6	8
	18	兵庫	香住高等学校	6/27	関西	2	3
	19	京都	京都海洋高等学校	7/18	関西	4	5
	20	福井	若狭高等学校(旧小浜)	7/19	関西	2	3
	21	島根	浜田水産高等学校	11/13	関西	2	3
	22	島根	隠岐水産高等学校	5/24	関西	4	6
	23	富山	滑川高等学校	6/15	関西	4	5
	24	香川	多度津高等学校	12/19	関西	4	5
	25	愛媛	宇和島水産高等学校	2/6	四国	3	4
	26	高知	高知海洋高等学校	11/7	関西	11	12
	27	熊本	天草拓心高等学校	11/28	西部	6	8
	28	宮崎	宮崎海洋高等学校	2/13	西部	6	8
	29	鹿児島	鹿児島水産高等学校	12/14	西部	10	11
工業	30	奈良	王寺工業高等学校	6/8	関西	2	3
商船高専	31	富山	富山高等専門学校	6/16	関西	5	6
	32	三重	鳥羽商船高等専門学校	6/5	関西	6	7
	33	愛媛	弓削商船高等専門学校	11/13	四国	6	9
	34	広島	広島商船高等専門学校	1/16	中国	4	6
	35	山口	大島商船高等専門学校	12/1	西部	4	6
35校						198	255

(※)印 総連合会船員対策委と合同

海上技術学校・同短大	8	68	81
水産高等学校	21	103	137
工業高等学校	1	2	3
商船高等専門学校	5	25	34
商船系大学	0	0	0
計	35	198	255
前年度対比	△2	△19	△29

Ⅲ. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）

【 学校側の所見、要望等 】

- (1) 学校訪問等による継続的な業界説明を望む。
- (2) 今年の求人、就職内定状況は好調、今後も継続的な求人を要望。
- (3) 女子船員の求人拡大を望む。
- (4) 離職理由に、乗船期間、休暇が事前の説明と違うとの声もあり、採用間もない頃は、乗船期間や事前説明で配慮願いたい。
- (5) 最近の学生は、気質や好む環境が、昔と変化して来ていることを理解して採用して欲しい。
- (6) 乗船実習の下船時に応じて面接・試験日の選定等、会社側の配慮を望む。
- (7) インターンシップやタンカー船見学の機会が欲しい。

【 内タン訪問者の所見等 】

- (1) 学校との継続的な関係の構築が必要。
- (2) 内航タンカーの業界自体が認知されていない学校もあり、地道なPRが必要。
- (3) 生徒への説明は、学校によって簡易な内容と専門的な内容を使い分ける必要あり。
- (4) 学校の先生自身にも、内航タンカーを知ってもらうための説明が必要。
- (5) 採用活動と同時に離職防止や業界内つなぎ止め方策の検討が必要。
- (6) 最近の学生はWi-Fi環境を重視する等、若者の気質や船内での過ごし方の変化を理解することが必要。

【 生徒からの主な質問 】

- (1) 内航タンカー船員の仕事(荷役、航海、危険性、新人船員の研修等)
- (2) 内航タンカー船員の労働条件(給料、休暇、船内生活、賄い、陸上勤務の有無等)
- (3) 企業が求める人材(性格、年齢制限、海技免状種類、他の資格、女子船員の採用等)
- (4) 業界の将来(原発・火力等のエネルギー事情、船腹の需給、省エネへの取組み等)

IV. 海技教育機構との懇談会議事概要

日時：平成29年7月27日(木)13:00～15:00

場所：海技教育機構会議室(横浜第二合同庁舎)

出席者：

(機構)

野崎理事長、大藤理事、高田審議役、飯島航海訓練部長、田村航海訓練部次長、南屋実習訓練課長、船津学校教育部長、鶴田教務課長、鈴木募集就職課長、仲里募集就職係員

(内タン)

内藤委員長(邦洋海運(株))、高橋副委員長(昭和日タンマリタイム(株))、栗田(田渕海運(株))、木下(鶴見サンマリン(株))、松浦(幸福船舶(株))、北(日新船舶(株))、三谷(三谷海運(株))、阿部(株霧島海運商会)、庭瀬(明神海運(株))、松波(株辰巳商会)各委員、佐藤代理桐山(上野トランステック(株))、渕、山口、目次(事務局)

懇談会要旨：

- ・内藤委員長より、毎年多数の内航タンカー船員を輩出頂くことへの謝意を述べ、今般、国交省でまとめられた「内航未来創造プラン」では10年先を見越して海技教育のあり方の見直しが行われるが、今後も意見交換により相互理解を図っていきたく旨、また、本年度も学校訪問により継続した活動を実施するので、各社の活発な船員募集活動に協力願いたき旨挨拶。
- ・野崎理事長より、学生や教官の体験乗船、進路の参考になる学校訪問、内航タンカー各社の多数の採用実績(本年4月は就職希望者359名中、49社で111名、約30%)等、多岐に亘ってのご協力に謝意を述べ、また、航海訓練所との統合後1年4ヶ月が経ち、更に機構改革の問題もあるが、今後も船員供給機関の役割を果たし良好な関係を維持したき旨挨拶。

1. 内航タンカーの現況報告

事務局より、次の通り報告。

(1) 組合の現況(平成29年3月末現在)

- ・組合員数558社、登録船910隻、883千G/T、1,631千m³
- ・全国に7つの支部、職員数計14名
- ・組織は、総会、理事会、運営会議の他、常設の委員会6、荷主との連絡会2

(2) 輸送量(平成24～28年度)

- ・白油 … 5年間の増減幅は少ないが、省エネ進展等で今後は減少見込み
- ・黒油 … 5年前(震災後石油火力増強)との比較で、15百万kl/年減少
- ・ケミカル… 漸減傾向であったが、直近2年間は輸出増等で堅調
- ・特タン … 減少傾向も直近2年間は堅調、但し品目毎の増減幅は大きい

(3) 船腹量(平成24～28年度)

- ・白油船 … 5年間で隻数は12隻減少、船腹量は2.9万m³増加(大型化)

- ・黒油船 … 5年間で隻数は20隻減少、船腹量は2.9万m³減少
- ・ケミカル船 … 5年間で隻数は15隻減少、船腹量は増減なし(小型船減)
- ・特タン船 … 5年間で隻数は27隻減少、船腹量は1.6万m³減少

(4) 船齢区分(平成28年10月現在)

- ・バブル期の大量建造船が20～25才となったが、特に小型船の代替が鈍化
- ・船齢15年以上が52%と高齢化が進展

(5) 内航タンカー船員実態

- ・平成28年10月現在、調査回収率80.4%の実態調査による、内航タンカー船員の平均年齢48.1才、50才以上54%と高齢化
- ・各社新卒採用の増加から25才未満割合は9.7%と徐々に増加
- ・推計船員数合計は8,938名
- ・内タン各社の新卒採用数は5年間で毎年増加(H24・181名→H28・283名)
- ・海技教育機構卒業生の採用数は毎年100名以上も、他の機関を含めた全体の採用比率では漸減傾向(H24・108名＝60%→H28・107名＝38%)

(6) 平成28年度学校訪問実績

- ・20年度より各支部毎にチームを組み、海技教育機構、水産高校等を訪問
- ・28年度は、海技教育機構8校、水産高校22校、工業高校1校、商船高専5校、大学1校、計37校を訪問、訪問校・参加会社・人数とも過去最高
- ・29年度も前年度並みの訪問を計画し実施中

2. 機構の現況報告

事務局より、次の通り報告。

(1) 入学・卒業状況

- ・入学定員 … 海技学校4校・定員140名、短大3校・定員250名、計390名
- ・29年度応募 … 海技学校1.6倍(前年2.1倍)、短大2.5倍(前年4.0倍)
- ・29年度卒業予定者 … 海技学校157、短大249、海技大学32、計438名

(2) 海技試験合格率(28年度)

- ・4級航・機両用…海技学校80%、短大100%、3級専修…海技大学100%

(3) 求人・就職状況(海技学校、短大、海技大学)

- ・毎年350名前後の海上就職希望に対し海上求人は、24年度630名、28年度1,208名と5年間でほぼ倍増、29年度も現時点で前年並み
- ・内、タンカー会社の求人は、24年度210名、28年度358名と5年で1.5倍
- ・タンカー会社への就職は、24年度140名、28年度111名と5年でやや漸減

(4) 求人受付

- ・海技学校の29年度求人受付は6月1日に変更(前年6/20)、短大は変更なし
- ・従来の専用サイトからの求人は、セキュリティの関係から廃止
- ・乗船実習期間が学校毎で若干の違いがあり、面接・試験等の配慮希望

(5) 航海訓練関係報告

① 6級海技士養成訓練

- ・従来、海技大学に雇用船員を対象に設置
- ・本年度より民間養成機関と連携して実施
 - …基礎訓練を航海訓練船で実施
 - …銀河丸、星雲丸を使用し、24名を3グループに分け実施

② BRM、ERN修了証発行

- ・内航総連合会からの要望を受け、修了証発行を決定
- ・来年4月からの発行予定で、過去、対象実習を行った者にも遡及して発行
- ・社船実習修了者も決められた課程の実習を受けていることから発行可能

3. 質疑応答、意見交換

(内タン) 平成29年1月より求人受付サイト廃止とのことだが影響は無いか？

(機 構) 10年前構築のサイトで個人情報保護等セキュリティの問題から廃止したが、書面やメールでのやり取りで実務上の問題は出ていない。また、機構では無料職業紹介の機能を持っているが、在校生、卒業生ともSNS等のネットワークで情報を得ているため、機構への照会は少ない。

(内タン) 会社で求人票を出す際、学校指定か、全校対象のどちらが良いか？

(機 構) 会社の希望(免状、年齢等)でどちらでも良いと思うが、例えば、学校毎に求人何名と人数が入っていると、積極的な求人と受けとめる。

(内タン) 「内航未来創造プラン」で定員を500名程度に増員となっているが、機構として具体策はあるのか？

(機 構) 現在、教育体制の見直しの部会が設けられ、航機両用を専修教育への移行、海技学校の一部を短大に移行等により増員との案は出ているが、今後の検討会の結論による。

(内タン) 小型船オーナーの立場では、少人数で運航の関係から、デッキは一人当直、エンジンはメンテナンス技能を身につける教育を望む。

(機 構) 航海訓練中は、多人数の実習生、教官数等の制約もあり、実質的には難しい面もある。瀬戸内での一人ワッチを任せるには、相応の経験が必要と思われ、採用後の教育で補完願うしかないのが現状である。

(内タン) 小型船船主では毎年の採用が難しく、グループ化して船員を取り易い環境を整えたいと思っているが、なかなか進まない。

(内タン) 館山の訪問時に、平水の日帰り船員の働き方に学生が大変興味を持ち、自動車通勤可能、社宅完備等の環境を整えることで、小型船のメリットが増し採用も可能になると思う。

(内タン) 就職率は相変わらず良いにも拘わらず、本年度に機構入学者の応募人数が減っているが、特別な理由があるのか。また、対策は考えているか？

- (機 構) 応募人数減少要因の一つは、一般入試と推薦入試(合算で7回)で複雑化していた試験回数を減らし単純化したことによる減少分もある。他の教育機関との比較でも未だ数字的には上回っており、人気の要因は、就職率の良さが寄与していると思う。ただし、陸上企業が人手不足から求人を増やしており少子化とも相まって、今後は他の教育機関との競争は激しくなると認識している。また、機構と訓練所の統合により、入学前に練習船を見て貰う機会が設定し易くなり、中・高生へのアピールには効果的である。
- (内タン) 募集が増えれば良い学生も集まる好循環になるので引き続き努力願いたい。一方、奨学金の受給率が伸びていない実態があるが、裕福になった、制度説明が足りない等の理由はあるのか？
- (機 構) 3年前から減少傾向であるが、制度内容は機会ある度に説明しているので周知不足ということはない。就職してからの借金返済(奨学金返還)を負うことに慎重になる傾向のようである。
- (内タン) タンカー会社への就職率が漸減(24年度38.1%、28年度30.9%)しているが、理由はあるのか？
- (機 構) 他業種からの求人数が増加したことにより学生の選択肢が増えたことが要因かと思う。但しタンカー会社で毎年100名以上30%を超える数を維持出来るのは、学生の人気が変わらずに高いと認識している。ちなみに、就職時の学生が企業を選ぶ理由のアンケート結果では、①乗船期間、②会社の雰囲気、③休暇、④給料、の順となっている。
- (内タン) 練習船で業界のアドバイザー事業を取り入れてから、訓練内容の変更等はあったか？
- (機 構) アドバイザーの指摘やレポートは、カリキュラム変更に至らなくても、教官の指導方法の変更として取り入れられている。カリキュラムの変更は、毎年の教授会で色々な要因を総合的に判断し見直しが行われる。特に、社船実習では、現場での実態に則した見直しが行われている。
- (内タン) 新6級の訓練船での実習が始まるが、問題点はないか？
- (機 構) 新6級、短大、商船高専学生が訓練船に混合での実習となり、難しさはあるが、時間割やグループを工夫して対応していく。
- (内タン) 最近、機構卒業生の定着率が良くなり、逆に新卒の採用人数を抑制せざるを得ない結果となったことが数社の情報交換の中で話題になった。各社の採用数はこのような要因からも増減があるので、採用会社のすそ野を広げるよう業界として努力していきたい。
- ※ 予定時刻となったため、質疑応答を終了し、今後も双方が協力していくことを約して本日の懇談会を終了した。

以 上

V. 水産高校生の求職希望に対する情報提供

本年度は、全国各地の水産高校より、運輸局、地区の船員対策協議会、内航総連合会宛、内航船への求職希望生徒のリストが地区や学校毎にまとめられ、下表一覧の通り業界に一覧の通り業界に情報提供があった。このため、組合員の就職活動の一助に供するため、メール網等を活用して即時に組合員へ通知した。

(平成30年3月卒業) 水産系高校卒業予定者の内航貨物船員への就職希望者数一覧

地域	都道府県	No	学校	本科		専攻科		合計			平成29年度実績 (平成29年3月卒業生)			記載日			
				甲板	機関	甲板	機関	甲板・機関別		本科・専攻科別		本科	専攻科		合計		
								甲板	機関	計	本科					専攻科	計
北海道	北海道	1	小樽水産高校	2				2		2	2		2	2	6月1日		
	北海道	2	函館水産高校	1			3	1	3	4	1	3	4	9	9	6月1日	
	北海道	3	厚岸海洋高校													6月1日	
東北	青森県	4	八戸水産高校	3				3		3	3		3	11	11	7月5日	
	岩手県	5	古川水産高校	1	1	5		6	1	7	2	5	7	2	7	9	7月5日
	宮城県	6	気仙沼海洋高校	2		3		5		5	2	3	5	4	4	7月5日	
	宮城県	7	水産高校	14 (1)	8	2	2	16 (1)	10	26 (1)	22	4	26	14	5	19	7月5日
	秋田県	8	男鹿海洋高校														7月5日
	山形県	9	加茂水産高校										1		1	7月5日	
	福島県	10	いわき海星高校		3				3	3	3	3	3				7月5日
関東	茨城県	11	海洋高校	1				1		1	1		1	4	4	6月22日	
	千葉県	12	館山総合高校		2				2	2	2		2		2	6月22日	
	東京都	13	大島海洋学園高校														
	神奈川県	14	海洋科学高校	2	4	10	9	12	13	25	6	19	25	3	13	16	6月22日
北信越	新潟県	15	海洋高校	1				1		1	1		1	4	4	6月8日	
中部	静岡県	16	徳津水産高校	5	3			5	3	8	8		8	1	1	6月30日	
	愛知県	17	三谷水産高校			4		4		4		4		4	4	6月30日	
	三重県	18	水産高校			6	3									6月30日	
近畿	京都府	19	海洋高校														
中国	鳥取県	20	境港総合技術高校	6 (1)				6 (1)		6 (1)	6		6			6月8日	
	鳥取県	21	福珠水産高校	3	2	2	3	5	5	10	5	5	10			6月8日	
	鳥取県	22	浜田水産高校			2	2	2	2	4		4	4			6月8日	
	山口県	23	大津洋洋高校	5	2	4	2	9	4	13	7	6	13			6月6日	
四国	徳島県	24	徳島科学技術高校	1				1		1	1		1	2	2	5月16日	
	香川県	25	多度津高校	1		2	1	3	1	4	1	3	4	6	6	5月16日	
	愛媛県	26	宇和島水産高校	2	2	3		5	2	7	4	3	7	6	5	11	5月16日
	高知県	27	高知海洋高校	1		4	2	5	2	7	1	6	7	2	2	4	5月16日
九州	福岡県	28	水産高校	4	3	4	3	8	6	14	7	7	14			6月6日	
	長崎県	29	長崎海洋高校	8	3			8	3	11	11		11	5		5	6月6日
	熊本県	30	天草拓心高校	11				11		11	11		11	4		4	6月6日
	大分県	31	津久見高校海洋科学校											4		4	
	宮崎県	32	宮崎海洋高校											7		7	
	鹿児島県	33	鹿児島水産高校	2	2	3	2	5	4	9	4	5	9	2		2	6月6日
沖縄	沖縄県	34	沖縄水産高校														
	沖縄県	35	宮古総合実業高校											8		8	
				76 (2)	35	54	32	124 (2)	64	188 (2)	111	77	188	79	60	139	

* 曳船、旅客船、フェリー、官公庁船、作業船、調査船、漁船は対象から外しています。

単位：名、()は女子で内数

平成29年度
船員対策委員会
委員名簿

(13名、順不同)

委員長	内藤 吉起	邦洋海運(株) 代表取締役社長
副委員長	高橋 洋一	昭和日タンマリタイム(株) 代表取締役社長
委員	戎谷 正志	旭タンカー(株) 取締役人事部長
〃	佐藤 典彦	上野トランステック(株) 常務執行役員
〃	栗田 克己	田渕海運(株) 取締役常務執行役員
〃	木下 一也	鶴見サンマリン(株) 船舶安全本部船舶グループ副部長
〃	嶋村 賢治	浪速タンカー(株) 取締役船員部長
〃	松浦 一夫	幸福船舶(株) 代表取締役
〃	北 雅之	日新船舶(株) 取締役海務部長
〃	三谷 秀明	三谷海運(株)代表取締役
〃	阿部 和久	(株)霧島海運商会 代表取締役常務
〃	庭瀬 秀男	明神海運(株) 代表取締役
〃	松波 道男	(株)辰巳商会 海運部課長

以上

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立小樽海上技術学校
訪問年月日	平成30年2月6日
訪問者 (順不同)	昭和田タン株式会社中村常務、幸洋汽船(株)藤澤早希氏、三興運油(株)土井社長 鶴見サンマリン(株)木下副部長、国華産業(株)原田担当部長 事務局 山口 計6名
実施事項 (○印)	(1) 生徒全体説明 (2) 学校側懇談 (3) 個別就職面談 (4) 懇親会 (内タン関係者)

懇談・意見交換概要

1. 教職員との懇談会 13:10~13:40

学校側出席者 : 高石校長、太田教頭、庄司指導課長他 他 計7名

【特記事項】

- 生徒への説明に先立ち、校長より同校の閉鎖を伴う動向について現状説明があった。校舎の老朽化により耐震化が困難であることなどから、国が同校の閉鎖を検討していることが明らかになったというニュースが、寝耳に水の形でマスコミによりリリースされた。そのため、当初、学校側は生徒の動揺を危惧したが、現在は落ち着いているとの説明。自治体からの支援の話はあるが、現在使っている設備が危険と判断されていることから出来るだけ早く去就を明らかにすることが求められているとのこと。次年度の生徒募集は平常通り実施される見込み。

2. 生徒への説明：出席生徒1・2年生合計56名 13:50~15:20

1. 内航タンカー紹介DVD放映
2. 出席各社の紹介
3. 生徒との懇談で質疑応答

【主な質問事項】

- 3ヶ月乗船、1ヵ月休暇のローテーションは守られているのか？
- 入社試験で重要視することはどんなこと？
- 甲板部で就職して最初にやる仕事は？
- WIFI環境について？
- 取っておいたら良い資格は？
- 船内で裸火はいけない？ 出席者からタンカーの特質を含め説明したが、後で校長曰く、この質問をした生徒は最近、寮の個室でアルコールを使い裸火で焼肉をしていてこっぴどく叱られたとのこと。

(所見)

学校閉鎖の情報に現場の教職員は気苦労が絶えない様子であった。
事前に学校側が生徒に質問を準備させておいてくれたので、意見交換の進行がやりやすかった。
2月20日付の日刊海事通信に本件が掲載された。寄稿はJME T S側と考えられる。

以上

学 校 訪 問 報 告 書

学校名	宮古海上技術短期大学校
年月日	平成29年10月19日 12:00～15:00
訪問者	藤澤（幸洋汽船）、土井（三興運油）、木下（鶴見マリン）、阿部（霧島海運商会）、桐山（上野トランステック）、原田（国華産業）、橋本（昭和日マリン）、戎谷（旭タンカー）、目次（事務局）
学校側	森校長、佐々木教頭、宮野教務課長、野崎学生課長ほか
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明（短大1年生42名）

懇談・意見交換概要

(先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 学校の現況

- ・学校応募者…前年度は急増も今年度は例年並み（応募倍率約2.5倍）、入学は北海道・東北で7割弱
- ・昨年度求人…44名卒業生、約3倍の求人
- ・就職状況…内航31名（タンカー11名）、タグ等5名、官庁5名他

(生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- (1)海技資格以外に資格はいるか？職員は消防実習が必要だが、入社後に取得。消防法の危険物とは違う。
- (2)乗下船が多い港はどこか？日本全国の港だが、強いて言えば石油コンビナートのある港。
- (3)危険物を扱うタンカーが荷役以外で注意することは？マニュアル遵守の行動、機関部でも火花防止。
- (4)複数隻所有会社は船員が乗り変わるのか？最初は同じ船で慣れさせ、後は色々な船に乗船が大半。
- (5)荷役時間は油の種類で違うか？荷役時間は陸上側の配管の太さやポンプ能力等の設備面で変わる。
- (6)航海中、ワッチ以外の仕事は？航海士は事務書類が多い。簡単な部品の修繕もある。
- (7)ドックに入る時期は決まっているか？タンカーは冬が繁忙期なので春～夏が多い。検査の関係もある。
- (8)タンカーは危険作業が多いと思うが、操練は多いのか？特にタンカーだから特別多い事はない。
- (9)4級免状を取得するが、さらに上級を求めるか？会社の方針、所有船型、航路による。
- (10)甲板長の役職は無くなりつつあるのか？会社によって違うが、昔と比べ作業内容が変わった面はある。
- (11)上級免状を取得したい場合、下船の調整、研修、サポート等されるのか？業務上のものは配慮する。
- (12)船員コミュニケーションの工夫は？自社では年2回研修会・懇親会開催。船内での懇親もある。
- (13)居住地は制約が無いのか？基本的には無いが、離島等極端に不便なところは避けて欲しいのが本音。
- (14)タンカー固有の作業はあるか？貨物船と違うのは荷役を船員が行う、ケミカルはタンク洗浄。
- (15)入社に際し求める心構えは？長く働く気持ち、気負い過ぎないこと、ストレスを溜めないこと。
- (16)賄いは必ず乗っているか？同船型の貨物船より乗っているが、小型船は乗っていないことが多い。
- (17)外航を併用の会社は、外航船にも乗るか？日本人で運航している船では乗ることもある。
- (18)他社から転職の場合、過去の履歴は考慮されるか？通常は考慮されるが、転職を推奨するものではない。
- (19)入社1年目の仕事は？やることは一緒だが、理解度が浸透していく。一番は慣れること。最初は掃除。
- (20)ECDISが多くなっていると聞くが紙海図は？紙海図も運用面で必要。
- (21)航海当直の人数は？通常は750GT以上が2名、749以下が1名。新人の場合+1名。
- (22)沖縄在住者で乗下船の問題は無いか？問題無い。却って飛行機のみ利用の場合、時間が節約される。
- (23)船員から陸上への転籍が可能か？会社にもよるが可能かと思う。陸上でも知識は生かせる。
- (24)船長、機関長の年齢下限はあるか？無いが経験と実力、乗組員の信頼。あまり若いとプレッシャーも大きい。
- (25)方言で意志疎通が図れないことは？多少はあるが、時間が解決する。
- (26)英語を話せないが問題は無いか？内航は日本人のみ。外人との接点はまれにあり、話せればより良い。
- (27)3ヶ月乗船が延びることはあるか？会社の運用でさまざま。若人は短く、年配は長くを希望する傾向。
- (28)荷役が早く終われば出港も早まるか？荷役時間は極端に短くならない。着棧の順番が早まる事はある。
- (29)タンカーの給料は良いか？貨物と比べ手当が多い分給料は良い。
- (30)外国語が堪能だと外航に回されるか？外国籍船はコスト面から外国人で運航する場合が大半。

●以下一部省略

以上

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	館山海上技術学校
訪問年月日	平成 30 年 2 月 28 日 13:20~16:10
訪 問 者	藤澤 (幸洋汽船(株))、桐山 (上野トランステック(株))、兼松 (浪速タンカー(株))、原田 (国華産業(株))、土井 (三興運油(株))、荒井 (シヨクユタンカー(株))、目次 (事務局)
学校側面談者	黒島校長、佐々木教頭、黒田教務課長ほか 8 名
実施事項	(1)生徒説明、先生との懇談

懇談・意見交換概要

(生徒との懇談、質疑応答) 1、2 年約 80 名

- ・ 6ヶ月の連続乗船はあるか？新人は長くならないよう配慮も、事例で全く無いとは言えない
- ・ 女性は採用するか？業界に少ないが、本日訪問メンバーの数社は女性採用に前向き
- ・ 成人式は休めるか？一生に一度の大事な行事なので考慮する
- ・ 必要な資格は？特別には無いが、より上級の海技免状を取ることは選択肢
- ・ 3ヶ月乗船、1ヶ月休暇の繰り返しで結婚出来るか？皆している本人次第
- ・ 1ヶ月休んで仕事は鈍らないか？最初は休み明け配慮も、何サイクルかで慣れて来る
- ・ 司厨員になりたいが採用はあるか？需要は多い、ベテランのもとで経験積むのが大事
- ・ 新人が辞めてしまう時期は？一般に3ヶ月（最初の乗船後）と3年は傾向として多い
- ・ ボーナスはどのくらいか？自社は約4ヶ月、会社によって本給を厚めにする等違いはある
- ・ タンカーの食事はおいしいか？船員の楽しみであり、食費に充分お金をかけおいしい
- ・ 子供の夏休みに併せて休むことが可能か？会社によるが可能と思う
- ・ 船内で運動不足解消は？船員は鈍る程肉体的に楽ではないが、器具を持ち込む者もいる
- ・ 採用の基準は、頭か人柄か？どちらかに分けるものでも無いが、各社毎に基準は様々
- ・ 洗濯の頻度は？干すのか乾燥機か？個人の考え任せ、乾燥機はある、部屋干しも可
- ・ 学校のように点呼はあるか？船では無い、決められた仕事時間より前に来るのが大事
- ・ トイレ掃除はベテランになってからもするか？通常は新人がやる
- ・ 1社しか受けられない決まりだが？会社側は制限ないが学校推薦との兼ね合いかと思う

(生徒に対する質問)

- ・ 3ヶ月乗船は長いと思うか？半分以上挙手、2ヶ月良い10名、1ヶ月5名、日帰り10名
- ・ 船に乗る職務に就きたいか？8割挙手、タンカー8、タグ10、フェリー4
- ・ 就職に当たり3つの内で何を優先するか？休暇12名、給料25名、船内環境30名



(学校及び就職の現状)

- ・ 昨年度の求人は3倍以上
- ・ 3年卒業予定44名中36名就職希望、35名内定（内、タンカー15名）、進学は海大等
- ・ 就職先の職務はデッキ25名、エンジン10名
- ・ 本年度入学は定員40名の予定（内、女子4名）
- ・ 賄い希望の生徒がいる場合、業界の受入先はあるので、希望を尊重するよう依頼
- ・ 学校推薦を出した場合、結果が出るまで複数社への就職は行わないよう学校で指導

学 校 訪 問 報 告 書

学校名	清水海上技術短期大学校
年月日	平成29年10月11日 13:20~16:00
訪問者	藤澤 (幸洋汽船)、野間 (エヌアイ・モーション)、三吉 (鶴見カンパニー)、阿部 (霧島海運商会)、浜田 (デュカム)、及川 (上野トランステック)、原田 (国華産業)、吉田 (昭和日タマタイム)、澁・目次 (事務局)
学校側	片岡校長、遠藤教頭、柴田教務課長、田島教諭ほか
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明 (短大1年生110名)

懇談・意見交換概要

(先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 清水校の現況



- ・学校応募者…前年度は急増も今年度は平年並み、入学は関東地区出身が6割
- ・昨年度求人…108名卒業生、7名進学、101名の就職希望に対し229社650名の求人
- ・就職状況…内航60名(タンカー24名)、フェリー等19名、タグ等12名、(航海60名、機関37名)

(生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- (1)船員の高齢化は理解も、若者の割合は増えているか?25歳未満は年々増加。
- (2)定期と不定期のタンカーの船員の収入格差は?タンカーは基本的に不定期、格差はない。
- (3)タンカー、ケミカルの需要は?石油全体では減少傾向、黒油の減少は顕著、ケミカル等は堅調。
- (4)最も多い需要がある船型は?一概に言えない、船種、航路、荷主により需要はさまざま。
- (5)3ヶ月の乗船を2ヶ月にする流れはあるか?短くしていく船社も出て来ている。
- (6)積荷のレイト変動で航海が変わることは?運送行為なので漁船のように買値で揚地を変えることはない。
- (7)タンカーは労働時間が長い?貨物船員との大きな違いは荷役をやることでやや長い傾向。
- (8)内航タンカーの平均的輸送距離は?半日から3日以内の航海が大半。
- (9)複数隻所有会社の求人は船毎に行うのか?入社後は全ての船に乗船する会社が大半。
- (10)海技資格以外に危険物資格はいるか?職員は消防実習が必要、入社後に取得。消防法危険物とは違う。
- (11)4級免除を取得するが、さらに上級を求めらるか?会社の所有船型、航路による。
- (12)危険物手当の額は?タンカー手当という名称で定率・定額、ケミカルはクリーニング手当もある。
- (13)女性の雇用は少ないか?女性を採用している会社もある。内タン調査で現在約30名。
- (14)機関部も荷役作業はあるか?大型船、小型船作業の違いはあるが、機関部も荷役作業を行う。
- (15)新入社員定着のため会社では何をしているか?例えばWiFiの設置、心構え、相談口等、乗船期間配慮。
- (16)女性の受入設備がある船はどのくらいあるか?受入会社でも、お風呂考慮等があるが特別な設備はない。
- (17)会社が求める船員の資質は?コミュニケーション能力、何でも聞く、辛抱、ロープワーク等。
- (18)タンカーは岸壁に着積出来ないと聞くが?自社では空船時に月1~2回仮バースを取る。
- (19)生涯部員を条件に採用する会社はあるか?通常免許を持った船員は職員に上げていくのが一般。
- (20)乗船中と下船中の賃金格差は?7割程度。格差がある方が乗船中の魅力が増す。
- (21)26才過ぎた新卒は問題あるか?会社としては本人のやる気次第。
- (22)会社を選ぶ際、善し悪しを何で判断すべきか?自分で情報を集めて欲しい。
- (23)給料の使い途で参考になる事例は?旅行、車、バイク、家。

(生徒への質問)

- 3カ月乗船は長いと感じるか?6割程度挙手
- 親に殴られた経験はあるか?7割程度挙手
- 会社を選ぶ基準は?給料、福利厚生、離職率、ホームページ公開、新造船建造
- 本日の説明を聞いてタンカー会社に興味を持ったか?7割挙手

以上

学 校 訪 問 報 告 書

学校名	唐津海上技術学校
年月日	平成29年11月21日 13:00～15:30
訪問者	土井（三興運油）、野間（エスアイ・モーション）、木下（鶴見船マリン）、千守（興栄海運）、浜田（デユカム）、桐山（上野トランステック）、原田（国華産業）、松下（松盛汽船）、尾崎・長野（宮崎海運） 淵（事務局）
学校側	園田校長、野村教頭、飯田教務課長、橋本指導課長、佐々木教諭ほか
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明（2年生39名、1年生38名）
懇談・意見交換概要	
<p>(先生との懇談概要)</p> <p>○内航タンカーの現況説明</p> <p>○唐津校の現況</p>	
<p>・学校応募者…今年度は検定料徴収の為激減（掛持ちなし）、入学は福岡・佐賀・長崎出身が7～9割</p> <p>・昨年度就職状況…4名進学、外航1名、内航30名（タンカー不明）、フェリー1名、官庁船1名、水産系1名（航海、機関生徒数は不明）</p>	
<p>(生徒との懇談概要)</p> <p>○DVDで内航タンカーしごと説明</p> <p>○出席各社の紹介</p> <p>○生徒との懇談で次の質問</p>	
<p>(1)事故が起こる要因は何か？ 無駄話による不注意やいねむり、基本動作を怠ったことによる。</p> <p>(2)安全面で1番気を付けていることは？ 甲板部では無駄話やスマホによって見張りを疎かにしない。機関部では機関室の巡回を頻繁に行うこと。</p> <p>(3)タンカー船ならではの苦勞とは？ 危険物を輸送するため、厳しいルールを守ることが第一とされる。ケミカルでは、品質管理が厳しく、手当は付くがタンク洗浄がある。</p> <p>(4)タンカーならではの楽しみとは？ 全国各地に行けるので、そこで色々な物を見たり、食べたりできる。また、1ヵ月の休暇があることによって、使い方次第で有意義に過ごすことができる。</p> <p>(5)危険物の資格は必要か？ 陸上の資格とは違うが、会社に入ってから取れる。</p> <p>(6)タンカーに乗る上で最低限必要な要件は？ 危険物を積む船なので、乗船中は危機感を持って乗る。</p> <p>(7)航路が限定される船もあるのか？ 荷主が用船し、決まった航路をピストンするものや、湾内の輸送で毎日帰れる船もあり、通常の不定期航路船も含め、色々なパターンがある。</p> <p>(8)企業が求める人材とは？ 船の中の年齢差も大きいので、第一にコミュニケーション能力のある人が望ましい。</p> <p>(9)給与、休暇以外の魅力は何か？ 緊張した仕事の後の充実感、エネルギーを運ぶ大切な仕事(優越感)</p>	
<p>(生徒への質問)</p> <p>●3ヵ月乗船は長いと感じるか？ 5割程度挙手、1ヵ月半くらいが望ましいという意見。企業側から3ヵ月だから金も貯まることを強調する。</p> <p>●色々な船種の中でタンカーに乗る理由は？ 日本の産業の主流になれる。タンカーはきついので、若いうちからきついことを経験するため、最初は貨物船でなくタンカーに乗る。</p>	
<p>(全体の感想)</p> <p>当校は先生の対応も良く、訪問の過程がスムーズであった。生徒については、まじめな態度であり、全体的にはおとなしい印象であったが、積極的に質問をする生徒も見受けられた。特に、半数の1年生からは、質問はなかったが、それは仕方ないことであると感じた。</p>	
以上	

学 校 訪 問 報 告 書

学校名	口之津海上技術学校
年月日	平成29年11月27日 15:00～16:30
訪問者	平野 (昭和日航マタイム)、野間 (エスアイプロモーション)、木下 (鶴見カマリン)、千守 (興栄海運)、浜田 (デュカム)、及川 (上野トランステック)、原田 (国華産業)、松下 (松盛汽船)、尾崎・長野 (宮崎海運)、山下 (旭カカー)、淵・山口 (事務局)
学校側	中島校長、枝元教務課長、永田指導課長ほか
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明 (2年生32名、1年生32名)

懇談・意見交換概要

(先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 口之津校の現況

- ・学校応募者…今年度は応募倍率 1.9 倍で依然として高倍率、入学は長崎・熊本出身が 85%
学校側から見た在校生徒の印象は、体を良く動かし、積極的な態度の生徒が多い
- ・今年度就職状況…2名進学、タンカー11名 (前年比▲5名)、貨物船 15名 (前年比+4名)、旅客船 1名 (前年比同)、官庁船 2名 (前年比+1名)、(航海、機関生徒数は不明)
今年度はタンカーへの内定者が前年比 5名減、貨物船が 4名増。求人状況では、官庁船の応募要件が変更となり、前年 7件に対し 14件と倍増している。

(先生からの質問)

- (1) 女子の採用については考えられるのか？ 会社によっては、採用経験があり、今も採用しているところがある。また、現在女性が働いている会社もあるので、個々に連絡を取ってほしい。



(生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問

- (1) タンカーの魅力は何か？ 給与がある程度高く、まとまった休暇が 1ヵ月あるため、色々なことに利用できる。
- (2) 4級資格で何ができるか？ すぐにはないが、将来的には内航の大型船の船長までができる資格である。しかし、皆さんには、更に 3級の資格取得を目指してほしい。

(会社側からの質問)

- (1) 入社後、給与、休暇、食事の内、どれを重要視するか？ 休暇、給与、食事の順。乗船中、SNS 使用可能であることを望む者は全員。
- (2) 何故、船の学校を選んだのか？ 親が船員だった。周りの環境が船に囲まれたものであった。

(全体の感想)

先生の対応は良く、生徒はまじめな態度であったが、全体的におとなしい印象。ただし先生によると、普段は体を良く動かし、積極的に何事にも取り組んでいるとのこと。内航タンカーへの内定者が減少している現状から、引続き訪問し、希望者を増やす必要があると感じた。

以上

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	独立行政法人海技教育機構 国立波方海上技術短期大学校
訪問日	平成 29 年 11 月 8 日
訪問者	四国支部長 山本 宗宏 他 15 名(別紙訪問者出席表添付)
学校側面談者	校長 澤田幸雄・教頭 高山恵一・庶務課長 高平恵一他 3 名
実施事項	第一部学校側と組合側の現状説明会 第二部生徒全体への説明会 第三部情報交換懇談会

第一部 学校側と組合側の現状説明会 (学校関係 4 名・組合側 16 名)



第二部 生徒全体への説明会 (1 年生 85 名 教員 6 名)



第三部 事業者と学校側との意見交換・懇談会



学校訪問の概要

(1) 上記の実施事項欄の3部会にて実施した。

(2) 部会別では

第一部 学校と組合の現状説明と情報交換会

・学校作成資料の説明

資料1の受験者数204名 入学者数90名（重複受験者を控除後では198受験者となる。） $188 \text{名} \div 90 \text{名} = 2.08 \text{倍}$

資料2 受験者の出身地では九州出身者が減少傾向。（26.7%から24.4%）地域が平均化の傾向は出身地と受験地のクロス傾向が出ている。

資料5 ・28年度卒業者のタンカー就職者15名 29年度(10/26日現在)18名で27年度25名就職していたことから減少しているが貨物船への就職者数は増加している。

○この点を深掘すると。

・タンカーを就職先と決定した学生に限定したアンケートからは、長く乗船していいから、確実に休暇が取得できる先、また 細切れ休暇でなく長期連続休暇を希望。続いて職場の雰囲気。

・選択理由の給与順位は4位

○学生全体へのアンケートでは、給与高いが選択の第1順位。

・船種別の給与順位は1位セメント船 2位 タグ 3位タンカー 4位 貨物船 5位 フェリー。

- ・従来のタンカー絶対優位の給与水準は崩壊している。タンカーと貨物船の給与差は月額4千円から5千円。手取り額では格差縮小。(求人票記載の給与集計。賞与を含め表示方法を要検討)

第二部 生徒への説明会

- ・参加組合員の自己紹介並びに山口海工務部長から冊子説明とDVD『内航タンカーはいま、若い力をもとめています』放映し極めて解りやすく、また高質な説明を実施。その後、生徒からの質問に対し参加企業者が応えた。
 - ・質疑内容の質問事項、
入社の前習得すべき技能・知識はありますか。タンカー船独特の規則はありますか。女性船員の雇用状況は如何ですか。
 - ・タンカー就職する人数14名16%(挙手ベース)・身内に船員がいる17名等。

第三部 情報交換並びに懇談会

- ・教室・宿泊施設ともに手狭と老朽化が進み苦慮している。
- ・内タン組合をはじめ多くの団体や個別企業が学校訪問しており既に40先、年度末までに50先見込 近年特に増加傾向。

(3) まとめ

同校から毎年多数の卒業生が組合員企業に入社している事もあり従来から極めて良好な関係を維持してきた。
今後も両者が安心と安全を求める生徒の教育と企業体質を維持する事を共感しつつ終了した。

以上

学校訪問参加者名簿(16名)

会社名	役職	氏名	住所	備考
山本汽船備	社長	山本 宗宏	松山市	四国支部長
(株)エスワイプロモーション	取締役	野間 司	東京都	執行役員 川上 浩
上野トランステック(株)	海務課長	及川 正文	東京都	
三鳳汽船(株)	社長	三宅 太	今治市	
昭和日タンマリタイム(株)	マネージャー	平野 雅弘	東京都	
鶴見サンマリン(株)	副部長	木下 一也	東京都	
備 デュカム	船員部長	浜田 誠吾	東京都	
宝山汽船(株)	社長	野間 福男	今治市	
国華産業(株)	運航管理部長	原田 浩二	東京都	
幸洋汽船(株)	海務部	藤澤 早希	今治市	
三ツ浜汽船(株)	社長	渡部 哲	松山市	
興栄海運(株)	常務取締役	千守 晃輔	松山市	
松盛汽船備	社長	松本 雅彦	佐伯市	
全国内航タンカー海運組合本部	海工務部長	山口 孝次	東京都	
// 四国支部事務局	事務局次長	渡部 壽	松山市	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	海技大学校
訪問年月日	平成29年10月18日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之(日新船舶㈱) 笹木重雄(東幸海運㈱) 木村美幸(木村海運㈱) 宮津(イイノガストランスポート㈱) 及川(上野トランステック㈱) 一刀(旭タンカー㈱) 吉田英亮(昭和日タンマリタイム㈱) 清家(㈱かんでんエンジニアリング) 上村良(事務局)
学校側面談者 (氏名・役職)	田邊校長・前田学務部長・杉田航海科科长・浅木航海科教授 遠藤学生課准教授
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>出前授業の前に上記先生方と懇談を実施。</p> <p>現在の同校の就職状況や生徒の意識傾向並びに生徒の状況について確認</p> <p>また、海技教育機構の問題についても意見交換を実施。</p> <p>同校 海上技術コース 航海10名 機関7名 海上専修コース 航海8名機関3名に 対し、出前授業を実施、内タン作成のDVDで船員の仕事について説明。</p> <p>グループ分けをし、グループでのフリーターキングを実施。</p> <p>・タンカー希望者6名・商船希望者10名・フェリー希望5名・その他(陸上)7名 合計4グループに分けそれぞれ、フリーターキングにて個別にミーティングを実施した。 各グループにより数々の質問が出された。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	北海道小樽水産高等学校
訪問年月日	平成30年2月7日
訪問者 (順不同)	昭和日タン株式会社中村常務、幸洋汽船(株)藤澤早希氏、 鶴見サンマリン(株)木下副部長、国華産業(株)原田担当部長 事務局 山口 計5名
実施事項 (○印)	(1) 生徒全体説明 (2) 学校側懇談 (3) 個別就職面談 (4) 懇親会

懇談・意見交換概要

1. 教職員との懇談会 09:00~09:35

学校側出席者 : 木村校長、三田村教頭、村上進路指導部長他 他 計7名

【特記事項】

- 学校側より学校案内とともに過去5年間の進路について説明があった。
内航タンカー船社には安定的に輩出しており、今後も期待できる。
同校からも他校同様、就職後のミスマッチを未然に防止するためとして、インターンシップ
(体験乗船)の機会を与えて欲しいとの要望が出された。

2. 生徒への説明：出席生徒 専攻科6名、本科2年生32名(女子2名)合計38名 09:45~10:35

1. 内航タンカー紹介DVD放映
2. 出席各社の紹介
3. 生徒との懇談で質疑応答

【主な質問事項】

- 事前に生徒の質問準備なく、内タン側からのやや一方的なアピールになった。
(間を持たせるのに往生した)
- それでも終盤でタンカー乗船希望者に挙手願ったら11名が応答してくれた。
- 教員がインターンシップの希望有無を尋ねると15名が挙手をした。

(所見)

生徒の印象はおとなしい感じがしたが真面目に聞いてくれた。生徒の反応が見えずつつい説教じみたアピールになったが、多くの生徒が内航タンカーに興味をもってくれたのではないかと思う。生徒の質問が少ないケースに備え、当方側の工夫が課題と感じた。

以上

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	北海道立函館水産高等学校
訪問年月日	平成29年12月12日
訪問者 (順不同)	幸洋汽船(株)藤澤社長、(株)エスワイプロモーション野間(取)、鶴見サンマリン(株)三吉(取)、 昭和日タンマリタイム(株)高橋社長、高佐(取)・竹駒マネージャー 吉野谷海運(株)吉野谷(取)、 * (株)霧島海運商会阿部(取)は暴風雪のため旅程変更欠席 事務局 山口 計7名
実施事項(○印)	(1) 生徒全体説明 (2) 学校側懇談 (3) 個別就職面談 (4) 懇親会

懇談・意見交換概要

1. 教職員との懇談会

学校側出席者：(進路指導部機関工学科)中野教諭、(海洋技術科)山本教諭ほか

【特記事項】

- ・学校側出席者から『卒業生の離職率が高い現状から、事前に職場環境等を知る機会を与えることが重要と考える。インターンシップ等の仕組みを検討できないか?』との発言があり、双方で意見交換を行った。

2. 生徒への説明：出席生徒合計26名

[2学年14名(海洋技術科11名、機関工学科3名)、3学年12名(海洋技術科5名、機関工学科7名)]

1. 内航タンカー紹介DVD放映
2. 出席各社の自己紹介
3. 生徒との懇談で質疑応答

【主に引率教諭からの質問事項】

- ・船舶関係への求職動向としては、フェリーを含め民間に興味を持つ生徒が増えている。
- ・甲板員として7名が内定したが増加率が非常に高いと感じる。背景には何があるのか?



(所見)

本校からは多くの卒業生が内航タンカー業界で活躍している。
教職員との意見交換会でインターンシップの要望があったが、特にタンカーの場合、すぐの実現するにはハードルが高いと考えられる。
函館港で仮バースをとっている内航タンカーへの訪船を企画すれば等の意見が出された。

以上

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	青森県立八戸水産高等学校
訪問年月日	平成29年12月11日
訪問者 (順不同)	幸洋汽船(株)藤澤社長、(株)エスワイプロモーション野間(取)・前川課長、 鶴見サンマリン(株)三吉(取)、昭和日タンマリタイム(株)高佐(取)・竹駒マネージャー 事務局 山口 計7名
実施事項 (○印)	(1) 生徒全体説明 (2) 学校側懇談 (3) 個別就職面談 (4) 懇親会

懇談・意見交換概要

1. 教職員との懇談会

学校側出席者：福嶋教頭、(実習船管理部長) 島守教諭、(水産工学科主任) 工藤教諭 他 計11名

【特記事項】

- ・ 近年、内航海運からの求人が急に増えてきた。
- ・ 平成29年度専攻科(漁業科8名、機関科10名)の就職内定状況は全員が決定。
- ・ 本科の海洋生産科(甲板系)在籍32名中8名が、水産工学科(機関系)在籍35名中2名が船員への就職内定(内漁船1名)
- ・ 学校側としては本科生も内航海運界に送り出したいが、海技免状取得を条件とされることが多い。

2. 生徒への説明：出席生徒合計28名(全員専攻科)

[1学年10名(漁業科4名、機関科6名)、2学年18名(漁業科8名、機関科10名)]

1. 内航タンカー紹介DVD放映
2. 出席各社の紹介
3. 生徒との懇談で質疑応答

【主な質問事項】

- ・ 内航タンカーは忙しいと聞くが、忙しい理由は何か？
- ・ 内航タンカーは何が危険なのか？
- ・ 20代の乗組員はどれくらいいるのか？
- ・ WIFI環境について？
- ・ 最初漁船に乗って、将来タンカーに代わるとしたら何か問題はあるか？
- ・ 1年生でタンカー希望者は2名であった。

(所見)

本科は海洋生産科(甲板系)(第3学年の在籍数32名)の内、船舶関係への就職内定が8名、水産工学科(機関系)(第3学年の在籍数35名)は2名いる。

本科生を内航タンカーへ向かわせる可能性は大いにあると感じた。

本科生の場合、士官、部員いずれの道を進むのかを含め、入社後の選択枝を持たせることができるため、採用する側にとっても魅力ある人材供給が可能と考えられる。

以上

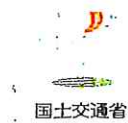
学 校 訪 問 報 告 書

学校名	宮古水産高等学校
年月日	平成29年10月19日 10:00～11:30
訪問者	藤澤（幸洋汽船）、土井（三興運油）、木下（鶴見物産）、阿部（霧島海運商会）、桐山（上野トランステック）、原田（国華産業）、橋本（昭和日物マテリアル）、目次（事務局）
学校側	菅野進路指導課主事、竹内専攻科教諭、山本教諭ほか
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒説明（専攻科（航海）2年生2名）
懇談・意見交換概要	
<p>(先生、生徒2名との懇談)</p> <p>(1) 内タンより訪問の趣旨、内航タンカーの現況説明</p> <p>(2) 各社より自社の紹介</p> <p>(3) 学校の現況を次の通り説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科生の進路は、内航2名（フェリー、貨物船）、5名は漁船志望 ・本科生は、4名栽培、漁船2名、内航3名、その他6名地元企業 ・今年は、選挙や船の修繕の関係から生徒が揃わなかった ・訪問時期は4～5月頃来校頂くのも良い時期かと思う（本科、専攻科揃い易い） ・テレビの影響もあり漁船志望が増加傾向 <p>(4) 生徒への説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒採用間もない船員は何をするか？ <ul style="list-style-type: none"> …最初の3ヶ月乗船期間は船に慣れること、新人は上乗せ、 …オペレーターでは陸上での研修もあるが、オーナーは船での実地研修が通常 …漁船船員の出身者（東北出身）も業界には多い …オペレーター船員の場合、通常、陸上勤務がある ・タンカーに興味があるが、他の船との違いは？ <ul style="list-style-type: none"> …タンカーは荷役作業を船員が実施 …どの学校を出ていても部員からスタート ・就職にあたって気をつけること <ul style="list-style-type: none"> …就職する前に会社や船を見て、ミスマッチを無くすことも必要 ・船員に就職してのメリットは？ <ul style="list-style-type: none"> …例えば宮古在住で盛岡勤務サラリーマンと比較すると、給料が違う、2時間近い通勤時間が不要等 ・ケミカル船のタンク内洗浄のやり方は？ <ul style="list-style-type: none"> …パタワース機械で洗浄、残さ回収後、乾燥、昔のようにタンク内での手作業は少ない ・喫煙は？ <ul style="list-style-type: none"> …喫煙は厳しい、決められた場所でのみ出来ない（荷役中は陸の指定場所等） 	
以上	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮城県水産高等学校（内航総連合会とのタイアップ）
訪問年月日	平成29年7月6日
訪 問 者	内藤（邦洋海運㈱）、高橋（昭和日タンマリタイム㈱）、 藤澤（幸洋汽船(株)）、土井（三興運油(株)）、原田（国華産業㈱）、 戸田（総連合会事務局）、ほか東北運輸局、東北船対協関係者
学校側面談者	瀧田校長ほか
実施事項	(1)学校側懇談、生徒説明

懇談・意見交換概要（東北運輸局プレスリリースより引用）



東北運輸局プレスリリース

平成29年7月18日
国土交通省東北運輸局

宮城県水産高校「進路懇談会」において 「内航海運に関する職業講座」を実施しました

近年、内航海運を支える船員の高齢化が進み、将来的な船員不足が懸念される状況となっており、若年内航船員の確保が極めて重要な課題となっています。

これを受け、東北運輸局では、日本内航海運組合総連合会及び東北内航船員対策連絡協議会と連携し、7月6日（木）宮城県水産高校で開催された進路懇談会において、「内航海運に関する職業講座」を実施しましたので、お知らせいたします。

実施日：平成29年7月6日（木） 15:45～17:00
 実施場所：宮城県水産高等学校 会議室（石巻市宇田川町1-24）
 対象者：専攻科生及び本科3・2年生 47名（うち女子3名）
 講師等：日本内航海運組合総連合会、東北内航船員対策連絡協議会、
 全日本海員組合東北地方支部、国土交通省東北運輸局 計12名

懇談会では、「内航海運に関する職業講座」として、日本内航海運組合総連合会及び東北内航船員対策連絡協議会メンバー6名が自社のアピール含め内航海運業に関する説明を行ったほか、全日本海員組合東北地方支部からは主に漁船に関し、当局からは船員の現状と課題について説明を行いました。

参加した生徒からは、内航船の乗組員数、給与（乗船時・休暇時の給与額、士官になった際の給与額）、船舶調理師の勤務時間と給与について等の質問が出され、関心の高さが伺われました。

また、職業講座修了後は、進路指導担当の先生方と広く意見交換を行いました。

東北運輸局では、将来に向けた内航船員の安定的雇用を図るため、今後とも人材確保を支援する取り組みを推進していきます。



学 校 訪 問 報 告 書

学校名	茨城県立海洋高等学校 海洋技術科
年月日	平成30年2月21日 13:00～14:30
訪問者	桐山（上野トランステック）、野間（エスワイブ・プロモーション）、兼松（浪速タンカー）、佐藤（浪速タンカー）、 淵（事務局）
学校側	大和田校長、奥原進路指導主事、住谷教諭（2年担任）、沼倉教諭（1年担任）
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明（2年生29名）

懇談・意見交換概要

（先生との懇談概要）

- 内航タンカーの現況説明
- 学校の現況説明



- ・学校応募者…3つの学科に分かれ、そのうち船舶乗組員になるべく勉強しているのは、海洋技術科であり、各学年30名前後の募集。現在3学年で96名であり、県内居住者がほとんどである。
- ・今年度就職状況…2割程度が進学、就職では、水産海洋関連企業のうち、商船関係に6名で、内航タンカーへの就職者はいない。航海・機関とも5級筆記免除取得が中心である。

（生徒との懇談概要）

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- (1) 平水船とは？ 特に湾内や河川を航行する100KL積み程度の小型船で、2～3名の乗組みで居住区もなく、日々自宅から通っている。新卒の船員はあまり働いていない。
- (2) 海技免許と乗組みとの関係は？ 5級の海技免許を持っていれば、1,000KL積みクラスの船長までできる。更に大型船の役職者を目指すのであれば、上級の免許取得にチャレンジしてほしい。
- (3) 休暇中はどのように過ごしているのか？ 個々によって違うが、若い方達は長期で行ける旅行に行くことが多い。長期乗船を行い、休暇を貯めて、世界の有名な山への登山をした方もいる。
- (4) 寄港、荷役はどのくらいのペースで行われるのか？ 荷物や船型によっても違うが、ほぼ毎日積みか揚げの荷役を行っている。長距離の場合は、2～3日毎の荷役となる。

（船社側から生徒に対し、地元志向、労働環境、休暇、給与のどれを重視するかを質問したところ、地元は0、労働環境は1、休暇、給与が共に約半数という結果であった。）

（全体の感想）

当校は今回初めての訪問であったが、先生の対応が非常に良く積極的であった。生徒については、まじめな態度で、説明もよく聞き、質問も出ていた。今まではあまりタンカーに就職した実績はなく、今回質疑応答した後で、タンカーに興味を持った学生が8名程度いた。教職員・生徒ともにしっかりしているので、今後もフォローしていける学校であると感じた。

以上

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	神奈川県立海洋科学高等学校（旧三崎水産）
訪問年月日	平成 29 年 11 月 24 日 10:00～13:00
訪 問 者	阿部（㈱霧島海運商会㈱）、桐山（上野トランステック㈱）、兼松（浪速タンカー㈱）、小林（昭和日タンマリタイム㈱）、久保・花田（鶴見サンマリン㈱）、目次（事務局）
学校側面談者	榊校長、高木・吉兼総括教諭、鈴木・新倉教諭ほか
実施事項	(1)学校側懇談、生徒説明
懇談・意見交換概要	
<p>(学校及び就職の現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の専攻科 20 名は全員船舶関係内定（内、タンカー 8 名） ・本科 3 年生は 12 名が船舶関係内定（内、タンカー 2 名）（例年は 4～5 名が船舶希望） ・本科 3 年生の内、専攻科進学希望は 19 名（デッキ 10、エンジン 9） <p>(学校・訪問者の質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校 5 級筆記免除だが、就職して昇進は可能か？…入社時は横一線（学校差はない） ・ミスマッチ解消のためタンカー見学やインターンシップは？…要望があれば考慮する ・船社で学校教育に求めることは？ <ul style="list-style-type: none"> …①船内コミュニケーションが一番大事なこと、②指差呼称等の声だしの重要性 ・生徒のエンジン希望が少なく PR アドバイスは？少数で昇進が早い ・保護者の意見は大きいか？…本人、保護者とも納得済みで就職するよう事前に懇談 <p>(生徒との懇談、質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事は作業着かと思うが、船内での服装は？…室内着に着替える ・司厨部は船員給料と格差あるか？…司厨部も船員なので極端に低くなることはない ・エンジンは 4 サイクルか 2 サイクルか？…一般は 4 サイクル ・社内で全船員が集まる旅行等のイベントはあるか？…船は常時動いているので、全員が集まることはない、小グループでの研修はある ・女子の就職口はあるか？…少ないが募集している会社もある ・専攻科出て何年で一人前になるか？…個人差はあるが、3 年程度は必要 ・乗船中のケガは船内で治療するのか？…軽度は船内で手当もあるが、重度は係留中に病院に行き、一刻を争う場合はヘリも要請 <p>(先輩からアドバイス) 本年度タンカー会社内定の先輩から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 級に留まらず、在学中に上級免状取得の勉強をして欲しい <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き時間を利用し、航海シミュレーション等見学 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	三谷水産高等学校
訪問年月日	平成29年 6月21日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	仲野支部長 (東海支部) 土井秀一 (三興運油㈱) 斎藤雄一 (大光船舶㈱) 夏本清和 (㈱オリエントシップ) 武田勝博 (日栄タンカー㈱) 高橋道男 (東海支部) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	瀬下先生 他 5名
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>同校 本科3年生漁業科 (甲板) 19名 2年生工学科 (機関) 20名 専攻科2年生漁業科1名 工学科 (機関) 1名に対し、出前授業を実施、 内タン作成のDVDで船員の仕事について説明。 科別にグループ分けをし、グループでのフリートーキングを実施。</p> <p>それぞれの科の生徒に対し、個別にミーティングを実施した。 詳細な仕事内容などそれぞれの希望職種について説明を実施した。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	三重水産高等学校
訪問年月日	平成29年 7月11日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之(田渕海運㈱) 木村美幸(木村海運㈱) 横田之雄(横田海運(有)) 北村智也((有)六甲船舶) 仲野支部長(東海支部) 松浦一夫(幸福船舶㈱) 高橋事務局長(東海支部) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	内山進路指導
実施事項(○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p>同校 本科2年海洋・機関科38名3年海洋・機関科30名及び専攻科 1年漁業6名、機関5名2年漁業7名、機関4名、合計90名に対し、タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等について、内タン作成の内航タンカー船員募集PRDVDを活用し、説明を行った。</p> <p>質疑応答では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷役作業について、 ・タンカー船員の資格等について ・平水船勤務体系、給与体系について ・就職するにあたっての注意点 ・休暇体系について <p>等が、それぞれについて、説明がなされた。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	兵庫県立 香住高等学校
訪問年月日	平成29年 6月27日(火)
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本 清和 (㈲オリエントシップ) 武田 勝博 (日栄タンカー㈱) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	岡村 有為子 (進路指導部長), 森澄 実 (海洋学科長) 青木 優尚 (海洋学科オーシャンコース担任)
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>今回の学校訪問は、学校側からの要請により実施。</p> <p>オーシャンコース2年生18の内、就職希望7名内2名タンカー希望 進学希望7名(海技短大4名その他7名)に対し、内タン作成のパンフレットを主体に 具体例を挙げフリーターキング形式で説明を実施。</p> <p>また、卒業生の現状を交え状況説明を行った。</p> <p>就職希望については、漁船2名保安庁1名、自衛隊1名 未定3名の状況。</p> <p>教室で、生徒とフリーターキング方式で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー乗組員と他の船舶乗組員との給料面での違い ・内航船での必要な海技資格の種類及びその他の資格 <p>等について意見、質問があり、各説明を行った。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	京都府立 京都海洋高等学校
訪問年月日	平成29年 7月18日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	斎藤雄一 (大光船舶㈱) 横田之雄 (横田海運(有)) 松田ユフル (松田汽船㈱) 土井秀一 (三興運輸㈱) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	高木先生 石川先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>同校 航海船舶コース 2年生14名を対象に内タン作成のDVDを活用し、内容を説明、参加者を進学希望7名就職希望7名に分け、グループトークを実施、</p> <p>海技免状の昇格及び船内の昇格について試験があるのかないか、同校で取得できる資格は、すべてとるほうがいいのか 就職はすぐに可能かどうか</p> <p>等の質問が出された。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福井県立 若狭高等学校
訪問年月日	平成29年 7月19日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	斎藤雄一 (大光船舶㈱) 横田之雄 (横田海運㈱) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	福嶋校長 毛利先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>同校 海洋科学科2年生17名3年生1名に対し、内タン作成のDVDを視聴していただいたのち、内航タンカー船員募集の海技免状及び取得に関するプロセスおよび必要なライセンスの説明を行った。</p> <p>17名中 進学希望の内 海技短大4名3年生1名 4年制大学7名 就職希望6名グループ分けをし、それぞれ詳しく内容を説明。</p> <p>それぞれのグループで詳細の質問が出された。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	浜田水産高等学校
訪問年月日	平成29年11月13日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之 (日新船舶(株)) 川橋利明 (甲子汽船(有)) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	山本先生 進路指導部 主事
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>同校 「就職進学ナビ」にて 内タンプースにて 希望者に対し、説明。 内タン作成のパンフレットで船員の仕事について説明。 参加者は、1年生海洋技術コース14名 2年生同コース11名に対し説明。 船員の仕事内容。今後の学生生活の過ごし方などについて 全体の説明の後、1年生と2年生に分かれて、説明。 学校で取れる資格などについては、極力とるように 又、同校5級養成校であるが、努力次第で4級を取得できる可能性があるとのことで、 残りの学生生活を充実したものにできるようにとの話。 質問では仕事と休暇のサイクル、給与面、どのような資格が必要か 等</p>	


学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	隠岐水産高等学校
訪問年月日	平成29年 5月24日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	斎藤雄一 (大光船舶㈱) 木村美幸 (木村海運㈱) 松波道男 (㈱辰巳商会) 木下一也・弘中康雅 (鶴見サンマリン㈱) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	池田校長先生 新井先生 梶野先生 大門先生
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 ○(4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>出前授業の後 田中校長と懇談。</p> <p>就職状況の確認と、3年生・専攻科の希望状況を確認した。</p> <p>また、場所を変え、先生方と懇親会を開催、2年生を含め、就職希望状況の確認を行った。</p> <p>陸上希望者の中には、まだ、進路の希望が確定していない生徒が多数ある状況である。</p> <p>毎年 就職懇談を実施要望が出され、継続することで、了承した。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山県立滑川高等学校
訪問年月日	平成29年 6月15日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	原田浩二 (国華産業㈱) 野間 司 (㈱エスワイプロモーション) 北 雅之 (田淵海運㈱) 松波 道男 (㈱辰巳商会) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	佐藤先生
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>海洋科1年生 40名 2年生30名に対し、授業を実施、 内タン作成のDVDより、船員の仕事、タンカー船の仕事、生活環境等を説明。 質疑応答では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー船員の仕事のつらいところについて ・給料体系について ・乗船サイクルの変更はあるのか <p>等々の質問が出された。</p> <p>先生と懇親会を実施。</p> <p>同校生徒の就職状況、進路状況について 毎年海技教育機構に 波方・清水・宮古に進学している、 同校は、小型船舶しかないので直接の就職は厳しい 県内の大型企業の工場などの採用が多いようである。 今日の給料の話によって、興味を示してる子が出てきたようである。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	香川県立多度津高等学校
訪問年月日	平成29年12月19日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	川橋利明 (甲子汽船(有)) 夏本清和 (有)オリエントシップ) 千守晃輔 (興栄海運(株)) 原田浩二 (国華産業(株)) 上村 良「(事務局)
学校側面談者 (氏名・役職)	中西一仁 (水産部長)
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>本科2年生28名(航海科14名、機関科14名)に対し、内タン作成のDVDを使用して説明を行った。</p> <p>28名を4グループに分け、グループトークングを実施。</p> <p>質疑応答について下記内容の質問が出された。</p> <p>給与体制について、休暇状況について、 休暇中の給料について 船員の仕事内容についてなど、グループ別で数々の質問がなされた。</p> <p>中西先生と懇談を実施、 本校の現状とこれからの内容について説明あり、 3年生・専攻科については、本科3年は、専攻科進学を含め、ほぼ進路が決定。 タンカー業界に3名が内定状態である旨説明。</p> <p>2年生については、現在方向性を検討中している生徒が多いとのこと PRを継続的に行っていることで、かなりのタンカー希望が増えている状況であるとの説明がなされた。</p>	
	

学校訪問報告書

訪問学校名	愛媛県立宇和島水産高校
訪問日	平成30年2月6日(火) 13:30～14:30
訪問者	石峰海運(株)石峰社長外2名(別紙名簿のとおり)
学校面談者	海洋技術課長 揚村勝幸、教諭 遠矢新一郎ほか
実施事項	内航海運関係の説明(DVD)、生徒との意見交換等
説明会等	
<p>四国運輸局及び愛媛地方内航船員対策連絡協議会の実施する水産高校生徒との意見交換会に合わせて実施した。各出席者自己紹介(局・内タン事業者等・愛媛地方内航船員対策連絡協議会)のあと、次の次第により開催された。</p> <p>(参加者) 宇和島水産高校海洋技術科(2年生)18名、専攻科(1年)10名、教員7名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内航海運及び内航船員について(四国運輸局宇和島海事事務所佐伯次長) 2. 内航海運について(DVD「海をかける若者たち」) 3. 質疑、意見交換 <p>(生徒からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船と休暇について制度を教えてください。 ・タンカーではどのような操練がありますか。 ・航海士等の海技資格以外の必要な資格を取得する場合、費用はどうなりますか。 ・タンカーで当直や荷役以外の仕事はどのようなものがありますか。 ・船長や機関長になるには何級位の資格が必要ですか。 <p>(事業者からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー船に乗ってみようと思う、又は興味のある方は… 約半数 <p>(事業者から生徒へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船員という仕事は陸上とは違って、船が変わっても職業は変わらない。自分をためせる仕事でもある。1回なじめば高齢まででき、人生設計が組みやすい。ぜひ内航船員になっていただければ有り難い。 <p>以上</p>	

別紙

学校訪問参加者名簿

会社名	役職	氏名	住所	備考
上野トランスティック㈱	海務部長	桐山和広	東京都	
石峰海運㈱	代表取締役	石峰源哉	西予市	
三鳳汽船㈱(株)	船舶管理	平井宏幸	今治市	

事務方 四国支部事務局長 近藤伸弥

※学校訪問の前日及び当日と南予地方が大雪のため、JR の運行状況や道路状況が悪く、参加予定をしていた事業者5社6名が欠席となった。



【内タンからの配付資料等】

内航タンカーはいま、若い力を求めています。(全国内航タンカー海運組合)
海へ 海の仕事があなたを待っている (全国内航タンカー海運組合四国支部)
ボールペン (全国内航タンカー海運組合四国支部)

【宇和島水産高校提供資料】

宇和島水産高等学校パンフ
船員への道
平成29年度求人状況
平成27～29年度進路状況

【四国運輸局配付資料】

出前講座資料 「日本の海運と船員」
平成29年度内航海運の活動 (総連合会)
What is 内航海運? (総連合会)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	高知海洋高等高校
訪問年月日	平成29年11月 7日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	川橋利明 (甲子汽船(有)) 横田之雄 (横田海運(有)) 笹木重雄 (東幸海運(株)) 丹羽耕一郎 ((丹羽汽船(株)) 萩 透 (イイノガストランスポート(株)) 木下一也 (鶴見サンマリン(株)) 平野雅弘 (昭和ニッタンマリタイム(株)) 田中孝典 (松田汽船(株)) 原田浩二 (国華産業(株)) 野間 司 ((株)エスワイプロモーション) 千守晃輔 (興栄海運(株)) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	池田先生 羽方先生 北添先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>授業に先立ち、学校側先生と懇談、卒業時も免除取得資格について等、航海科は、マリン系・船舶系(海技資格取得)機関科は、船舶系(海技資格取得)・海洋機器系に分かれる学科設定の旨、説明あり。</p> <p>同校 本科2年生機関科16名(2名欠席)に対し、出前授業を実施、内タン作成のDVDで船員の仕事について説明。</p> <p>グループ分けをし、グループでのフリートークを実施。</p> <p>船員希望者7・未定及び陸上希望者9に分けた。</p> <p>それぞれの生徒に対し、個別にミーティングを実施した。</p> <p>航海科、専攻科は実習の為来年度予定することで了解を得た。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

学校名	熊本県立天草拓心高等学校マリン校舎 海洋科学科海洋航海コース
年月日	平成29年11月28日 9:00～11:00
訪問者	平野(昭和日航マリン)、野間(エスワイブ・ロモーション)、木下(鶴見マリン)、千守(興栄海運)、原田(国華産業)、山下(旭カカー)、淵・山口(事務局)
学校側	石川副校長、西野主幹教諭、山田主任教諭、藤井主任教諭、寺田教諭、吉本教諭ほか
実施事項	(1)先生との懇談 (2)生徒全体説明(3年生21名、1年生20名)

懇談・意見交換概要

(先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 学校の現況説明



- ・学校応募者…2つの校舎に分かれ、マリン校舎は普通科と海洋科学科、海洋科学科の内、海洋航海コースは各学年20名募集。入学は天草島内がほとんどである。
- ・今年度就職状況…2～3割が進学、就職では、内航に14名でタンカー、貨物船が半々であり、水産関係に1割である。5級筆記免除取得が中心で、4級を取得していく生徒が多い。

(生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- (1) 陸上の危険物取扱資格と海上との違いは？ 陸上の資格とは違うため、講習を受講して取得するが、必要になった場合は、会社から受けさせてもらえる。
- (2) 新入社員に望むことは？ 学生気分を早く直し、意志をもって入社してほしい。
人の話をよく聞いて、何でも聞いてほしい。
少数精鋭で安全を担保していくので、各自が責任を持って行動してほしい。
コミュニケーションを取れるようになってほしい。
- (3) ガソリンの需要とタンカーへの影響は？ ハイブリット車の浸透や燃費の改善により、ガソリンの需要は徐々に減少しているのは事実である。しかし、格安航空会社の増加等により、航空燃料の需要は増加しており、その他、トラック用の軽油も増加傾向であるため、白油全体では、減少していない。

(最後に生徒代表からお礼の言葉があった。)

(全体の感想)

当校は今回初めての訪問であったが、先生の対応が非常に良く積極的であった。生徒については、まじめな態度で、全体的に引き締まった印象であった。しかし、今回の対象がすでに就職が決まった3年生と1年生であったため、質疑応答も若干拍子抜けの感があった。大変良い学校なので、来年は2年生を対象にできるようにスケジュール作りが必要であると感じた。

以上

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮崎海洋高等学校
訪問年月日	平成30年 2月13日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之(日新船舶㈱) 木村美幸(木村海運㈱) 斉藤雄一(大光船舶 ㈱) 木下一也(鶴見サンマリン㈱) 松本雅彦(松盛汽船㈱) 須賀考樹 (日吉海運㈱) 中林栄治(西部支部事務局長) 上村 良(関西・葉船 支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	中野先生 進路指導部 主事 作本先生 機械科
実施事項(○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p>出前授業前に、中野先生・作本先生と懇談を実施。</p> <p>同校生徒の進路状況の説明あり、29年度は、漁業科(航海)商船に12名就職 機械科は7名 新3年生(現2年生)は商船の希望が多いとのこと、漁船に乗船の生徒で、 理想とかけ離れ早期退職が多いとのこと、それらの生徒は、海を離れ、陸上勤務している とのことであった。</p> <p>懇談の後、生徒の出前授業を実施。内タン作成のパンフレットで船員の仕事について説明。 参加者は、1年生41名漁業希望(24名)機械系(機関)17名に説明。</p> <p>船員の仕事内容。今後の学生生活の過ごし方などについて 全体の説明の後、4グループに分かれグループトークを実施。</p> <p>学校で取れる資格などについては、極力とるように 又、同校4級養成校であるので、大変有利であることを強調。</p> <p>グループトークでは、1年生でコース選択の前であるため、立ち入った質問が出ない 状況であった。各グループとも給与面や仕事の内容、資格について、詳細に説明を行った。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鹿児島水産高等学校
訪問年月日	平成29年12月14日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之(日新船舶㈱) 木村美幸(木村海運㈱) 斉藤雄一(大光船舶㈱) 宮津昌伸(イイノガストランスポート㈱) 松波道男(㈱辰巳商会) 白石紗苗(白石海運㈱) 木下一也(鶴見サンマリン㈱) 平野雅弘(昭和ニッタンマリタイム㈱) 土井秀一(三興運油㈱) 浜田誠吾(㈱デュカム) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	中山先生(進路指導部 主事) 徳光先生(海洋科機関) 九鬼先生(海洋科機関) 川添先生(海洋技術)
実施事項(○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p>授業に先立ち、学校側先生と懇談、卒業時の免状取得資格について等、海洋技術、海洋機関 栽培工学があり 海洋技術・機関は4級海技資格養成校となっている またその他に、情報通信科があり、2級海上無線士の資格があるが、海技免状は、乗船履歴が無い為、就職後つける必要がある。</p> <p>同校 本科2年生 航海・機関科 28名に対し、出前授業を実施、内タン作成のDVDでタンカー船員の仕事について説明。</p> <p>グループ分けをし、グループでのフリートーキングを実施。 タンカー希望・旅客船希望・陸上希望・船種未定の4グループで実施 それぞれの生徒に対し、個別にミーティングを実施した。</p> <p>午後には、ブース形式にて、1・2年生希望者(34名)に乗組員の仕事などの説明を実施</p> <p>来年度は、通信科も説明(出前授業に)参加願いたい旨要望をし、了解を得た。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	王寺工業高等学校
訪問年月日	平成29年 6月 8日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本清和 (㈱オリエントシップ) 武田勝博 (日栄タンカー㈱) 上村 良 (関西・葉槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	松本先生 進路指導部長
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>同校 「いつでもナビ」にて 内タンプースにて 希望者に対し、説明。 内タン作成のパンフレットで船員の仕事について説明。 参加希望者で随時ブースに来るので、その場に対応。 基本的には、海技免状の養成機関ではないので、海技短大に進学を進める方向で 話を実施。</p> <p>参加者 15名 機械コース</p> <p>学校側より、電気科の勉強は、船員の機関部に必要ないのか？との質問あり。 現状の船舶も電気機器が結構あるし、電気推進船もあるので、電気関係の知識も 必要となると説明。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山高等専門学校
訪問年月日	平成29年 6月16日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	原田浩二(国華産業㈱) 山岸 薫(鶴見サンマリン㈱) 片山(㈱デュカム) 北 雅之 (田湊海運㈱) 松波道男 (㈱辰巳商会) 上村 良 (関西・薬槽船支部)
学校側面談者 (氏名・役職)	笹谷先生 経田先生 山本先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>同校3年生7名(女子5名) 4年生11名(女子1名) に対し、パンフレットで説明。 その後、4年生は、デッキ・エンジンと3年生の33グループに分かれ グループトークングを実施、 生徒より、数々の意見、質問がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与体系 ・女性船員について ・船員の仕事内容について ・船員の資格などについて 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鳥羽商船高等専門学校
訪問年月日	平成29年 6月 5日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北雅之(日新船舶㈱) 松波道男(㈱辰巳商会) 原田浩二(国華産業㈱) 山田洋平(鶴見サンマリン㈱) 片山亮(㈱デュカム) 吉田英亮(昭和日タンマリタイム㈱) 上村良(事務局)
学校側面談者 (氏名・役職)	伊藤友仁 教授
実施事項(○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p>出前授業の前に伊藤教授と懇談を実施。</p> <p>現在の同校の就職状況や生徒の意識傾向並びに生徒の状況について確認 外航などは、面接などが重複する傾向にあり、生徒が就職先を絞り切れない状況。 かなり内航に目を向ける生徒が増えてきているとのこと。</p> <p>同校 五年生17名 甲板6名 機関11名に対し、出前授業を実施、 内タン作成のDVDで船員の仕事について説明。 グループ分けをし、グループでのフリートーキングを実施。 ・タンカー希望者4と・内航希望者(航海)4・(機関)9を 3グループ合計4グループ に分けそれぞれ、フリートーキングにて個別にミーティングを実施した。</p> <p>タンカー希望4名 PCC希望2名 タグ4名 フェリー5名 調査船希望1名 外航1名</p>	

学校訪問報告書

訪問学校名	弓削商船高等専門学校
訪問日	平成 29 年 11 月 13 日
訪問者	山本汽船(株)山本社長外 9 名 (別紙名簿のとおり)
学校面談者	木村隆一校長ほか 7 名の先生
実施事項	先生方との意見交換会、商船学科 3 年の生徒 45 名への説明・質疑
説明会等	<p>弓削商船高専の第一会議室において、弓削商船の先生方 8 名と意見交換会を実施した。山本四国支部長及び井瀬校長の挨拶のあと、各出席者の自己紹介を行い、そのあと当方からは内航タンカーの現況の説明を行い、学校からは 29 年卒業予定者の内定先状況等の説明があり、その後意見交換を行った。</p> <p>(意見交換の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航海士の場合、履歴を重視しているのか。 ・荷役のチェックリスト等で英語は必要か。 ・5 年生のうち、何年生くらいで方向性が決まっていくのか。 ・内航と外航でカリキュラムは異なるのか。 ・内航タンカーの状況と今後の見通し。 <p>そのあと、場所をアセンブリーホールに移動し、商船学科 3 年生 45 名に対して、各事業者の自己紹介、DVD「内航タンカーはいま、若い力を求めています。」を上映、そして生徒のいくつかの質問を事業者が回答して終了しました。なお、最初に内航タンカーも就職先の候補にあるかないかと質問したところ、3 名程度の生徒があるとの回答でしたが、説明終了後再度同じ質問をしたところ約半数が挙手しました。また、終了後も各事業者に直接質問する学生が多くいました。</p> <p>(質問内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子船員はどのくらいいるのか。 ・タンカー船員に採用する場合、とっておかなければならない資格は。 ・内航船と外航船の違いは。 ・陸上勤務となった場合、住居はどうなるのか。また、どのくらいの乗船履歴で陸上勤務となれるのか。 ・内航船でよかったこと、悪かったこと。 ・英語の必要性は。 ・機関 (MO 船等) の当直体制は。 <p>以上</p>

別紙

学校訪問参加者名簿

会社名	役職	氏名	所在地	備考
山本汽船(株)	社長	山本 宗宏	松山市	四国支部長
鶴見サンマリン(株)	海務監督	久保 直輝	東京都	
〃	人事グループ 部長	瀬川 一彦	〃	
国華産業(株)	運航管理部長	原田 浩二	〃	
青野海運(株)	執行役員	三宅 勝	新居浜市	
〃	船舶管理本部	真木 慎一	〃	
三ツ浜汽船(株)	社長	渡部 哲	松山市	
〃	総務部	藤岡 良孝	〃	
上野トランスティック(株)	海務部長	及川 正文	東京都	

事務方 四国支部事務局長 近藤伸弥



先生方との情報交換



DVD を見る学生

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	広島商船高等専門学校
訪問年月日	平成30年1月16日(火) 午後1時30分から午後3時30分
訪問者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	原田浩二(国華産業㈱運航管理部担当部長) 木下一也(鶴見サンマリン ㈱船舶グループ副部長) 及川正文(上野トランステック㈱海務部課長) 小村朋孝(聖朋海運㈱代表取締役) 石井学(鶴見サンマリン㈱総務 人事グループ次長) 力石正志(内タン) 以上6名
学校側面談者 (氏名・役職)	副校長 水井真治 商船学科 教授 小林豪 以上2名
実施事項(○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (1)生徒全体説明 <input checked="" type="checkbox"/> (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p>先生との懇談：現状説明 * ①：は学校、生徒。○：訪問者。[]：コメント。</p> <p>① 5年生の就職、進路は全員内定している。</p> <p>② 平成30年10月卒業生44名(航海21、機関23)名の進路は海上75%(内航43、外航32)、陸上9%、進学16%となっている。</p> <p>③ 最近卒業率(留年等が減った)が上がっている。</p> <p>○ 広島商船の特色は? [特に偏った指導はしていない]。</p> <p>○ 就職は先輩に在る会社を? [話しは進むが、生徒は意外に仕事の内容を知らない、ミスマッチが無いよう努力をしている、多くの業種を知ってもらうようにしている、人間関係、1船に新卒者一人だけでなく、資格をもっていてわかっていてもできないは別、個室完備もいいがサロンに雑談のある船内(悩むと部屋にとじこもる)]。</p> <p>○ 県内の学生? [県外生が多くなった、1年生では50%以上県外 全寮性ではないが約500室が満杯で下宿している]。</p> <p>○ 商船学科の定員増は? [現在は40名]。</p> <p>商船学科3年生航海24名(内4名女性)、機関23名(内1名女性)・2年生48名(内4名女性)。 計95名に力石がDVD等により業界の説明、訪問各社のコメント。</p> <p><u>質疑応答</u></p> <p>① 就職に必要な資格(危険物)がいますか。 ② 給料、ボーナスはいくら位なのですか。</p> <p>③ 休暇は。 ④ 進学した後の再就職は。 ⑤ 陸上勤務はありますか。</p> <p>⑥ 昇級は。 ⑦ 乗船中に急病になったら。 ⑧ 福利厚生、育休は(女性)。</p> <p>⑨ 船揺れますか(女性)。 ⑩ 住まいは会社の近くで(女性)。</p> <p>○ 今日、タンカー業界の説明を見て、聞いてタンカーに興味を持った人? 過半数が手をあげた。</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

学校名	大島商船高等専門学校
年月日	平成29年12月1日 13:00~14:50
訪問者	木下（鶴見カマリ）、桐山・及川（上野トランスック）、原田（国華産業）、松下（松盛汽船）、 淵（事務局）
学校側	古本商船学科教授（就職担当）、木村教諭（学年担任）
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明（3年生40名）

懇談・意見交換概要

(先生との懇談概要)

- 内航タンカーの現況説明
- 大島商船高専の現況



- ・学校応募者…今年度は応募倍率3.0倍で依然として高倍率、入学者は九州出身者が多い。当然、船の仕事に就くことを目指してくるので、積極的な授業態度である。
- ・今年度就職状況…1割進学、その他は海上への就職。そのうち1割は外航、残りは内航、内航タンカーへの内定者は4名。

(先生からの質問・説明)

- (1) 3ヵ月後の休暇下船の際、住まいは限定されるのか？ 会社によって、基準は違うが、家と乗下船先との交通費は出るので、住まいはどこでも構わない。独身者は実家住まいが多い。
- (2) 2017年のインターンシップには、9割の生徒が行った。行先は内航の比率が高い。会社訪問も強制で行かせるようにしている。

(生徒との懇談概要)

- DVDで内航タンカーしごと説明
- 出席各社の紹介
- 生徒との懇談で次の質問



- (1) 日本語で大丈夫か？ 内航は日本人のみの配乗であり、ルールブックが英語表記のものがある。
- (2) 3ヵ月後も同じ船か？ 会社によって違うが、一通りを覚えるまでは基本的に同じ船にする。
- (3) 海技士の2級資格は必要か？ 内航の船では船長でも4級で十分だが、上の資格取得をお願いする。
- (4) 海技免許の他に必要な資格は？ 役職位によって危険物資格が必要だが、会社に入って取らせる。
- (5) 学生時代にやっておいた方が良いことは？ パソコン（ワード、エクセル、PP）の習得。
- (6) 女性用の設備は？ ほとんどがセパレートされており、風呂は時間差を設けている。
- (7) 定期航路の船はどのくらいの割合か？ 一部の荷主専航船以外は不定期航路である。
- (8) 船員から陸上勤務は？ 将来の幹部社員として、船を陸側から見るために実施。陸勤になった時の給与は会社毎に違う。上の免状を持っていると陸勤の時に有利となる。
- (9) 産休の制度は？ 明記されている。再就職は妨げないが、復職する人は少ない。
- (10) 休暇中の過ごし方は？ 個々人で色々な休暇の取り方がある。休暇と高給がタンカー船員の特権。
- (11) 休暇の買取り制度は？ それぞれ所属の組合との協定によって取り決められている。

(会社側からの質問)

- (1) 3ヵ月の乗船は長いのか？ ほとんどの学生は長くないとの回答であった。

(全体の感想)

先生が良く対応して頂き、生徒はまじめな態度であった。最近では外航への入学が難しくなり、内航への意識も高かったし、就職を真剣に考えていた。引続き積極的なアプローチを行う必要があると感じた。

以上